



岩手

さくらJapanの裂き織ワールド
伝統工芸「裂き織」の
技術継承を
障がい者ととも！

幸呼来Japan

幸呼来Japan(岩手県盛岡市東新庄、石頭悦社長、019・681・9166)は、平成23年9月設立、平成24年4月に障害福祉サービス事業就労継続支援A型事業所に認定され、現在、障がい者11名、健常者スタッフ4名の15名体制で事業を行っている。

同社が取扱っている「裂き織」は、着用しなくなった着物を解体し、細く裂いて織り直したもので、最後まで物を使い切ろうとする日本人の物を大切に想う気持ちや、もったいない精神を形にした織物である。

同社が事業を行うきっかけとなったのは、盛岡市内にある特別支援学校を見学した際、生徒の織る裂き織の素晴らしさに感銘を受けたことが始まりである。見学した特別支援学校には、裂き織のクラスがあり、生徒たちは、2年間にわたり指導を受けている。しかし、卒業後はなかなか裂き織を活かせる道がない現状を受け、「生徒たちの素晴らしい技術を活かさないのはもったいない。この技術を活



裂き織製作風景



「さんさ裂き織り工房」の商品一例

かすことによつて、障がい者の自立にもつながっていくのではないかとこの想いが事業化の決め手となった。

同社の裂き織の特徴は、盛岡の夏祭り「盛岡さんさ踊り」で使用された浴衣を使っているところである。お祭りで使われた浴衣はどれも色鮮やかで、今までの裂き織のイメージとは違い、とてもカラフルな織物に仕上がっており、「さんさ裂き織り工房」ブランドとして展開している。社名も「さんさ踊り」の掛け声「さっころらちよいわやっせ」から採用。「さっころら」とは、「幸せは呼ぶと来る」という意味である。皆様に幸せが訪れることを願って、社名を「幸呼来Japan」とした。

最近、ノベルティーやファブリックメーカー残反での裂き織商品開発依頼などもあり、同社の裂き織ワールドはますます広がりを持ち始めている。

同社の詳しい内容はホームページ(<http://saccora-japan.com/>)